



2004年1月7日
株式会社フライトシステムコンサルティング

**米国マクサンとのマスター・ディストリビューター契約に基づき
ストレージ管理アプライアンス製品「SA100f」の国内販売を開始**
～異機種混在環境におけるストレージ統合を可能にし、
低コストで高信頼なストレージ環境の実現に道を開く～

株式会社フライトシステムコンサルティング(本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：片山 圭一郎)は1月6日、米国マクサン・システムズ(本社：米国カリフォルニア州サン・ジョゼ、President & CEO: ビック・マハデバン)との間に締結された日本におけるマスター・ディストリビューター契約に基づき、「SA100f」の国内販売を開始することを発表しました。SA100f はマクサン・システムズが提供するストレージ管理用のアプライアンス製品であり、ストレージ統合やディザスター・リカバリーを容易に実現でき、また高い費用対効果により TCO 削減に大きく貢献します。フライトシステムコンサルティングによるこの製品の正式な販売は、2004年1月20日から始まる予定です。

近年は IT が企業活動の基盤として重要な役割を果たすようになっており、IT に対する投資額やコストの増大が、大きな問題になりつつあります。IT コストをいかにして削減していくかは、多くの企業に共通の経営課題だといえるでしょう。特にストレージに対する投資額や管理コストは急速に増大しており、情報システムの TCO に大きなインパクトを与えています。ストレージ資産の利用効率を高め、管理コストも低減していくには、効果的なストレージ統合の実現が求められています。

これを可能にするのが SA100f です。この製品はデュアル構成の高性能プロセッサと大容量メモリ、10 基の高速ファブリックポートを装備したストレージ管理アプライアンスであり、ストレージ管理ソフトウェアとしてファルコンストアの「IPStor」、バックアップ・ソフトウェアとしてベリタスソフトウェアの「VERITAS NetBackup Media Server Option」をバンドルしています。なかでも注目すべきなのは、マクサン・システムズの独自技術「SANE(Storage Application Network Engine)」が採用されている点です。これによって異機種混在環境でも、容易にストレージ統合を行えるのです。

「異機種間にまたがるストレージ統合は、これまでは極めて困難なテーマでした」と語るのは、マクサン・システムズで副社長を務めるジェームズ・ユー氏です。そのため多くのユーザー企業は、ストレージ統合を実現するために特定ベンダーの製品でストレージ環境を構築する必要があり、多大なコストをストレージに費やさざるを得なかったと指摘します。しかし SA100f を利用すれば、複数ストレージの論理的な仮想化や、スナップショ



ットの作成、リモート・ミラーリング、サーバーレス・バックアップなどを、異機種混在環境で実現できます。例えばハイエンド・ストレージとローエンド・ストレージを組み合わせ、通常のサービス提供は高速なハイエンド・ストレージ、バックアップ用のスナップショット取得はローエンド・ストレージと、使い分けることもできるのです。「SA100f」を利用すればストレージ活用の自由度は飛躍的に高まります。これなら低コストで信頼性の高いストレージ統合も、容易に実現できるはずです」

一方、フライトシステムコンサルティングは、クラスタリングによるノンストップ・データベース・システムの実現や、SAN 技術によるストレージ統合、運用効率の高い無人データ・バックアップ、ストレージ上のデータ暗号化によるセキュリティ・ソリューションなど、ストレージ・システムの高信頼化・高セキュリティ化を可能にするソリューションを数多く提供しています。これらのソリューションと SA100f を組み合わせることで、ストレージ統合の信頼性をさらに高めることが可能になります。

フライトシステムコンサルティングでは今後もさらに、マクサン・システムズ製品の国内販売を強化していく予定です。すでに米国では Windows Storage Server 2003 搭載のエンタープライズ NAS ゲートウェイ「SG110m」が発表されていますが、1月22日には日本でも、フライトシステムコンサルティングによる製品リリースが計画されています。またマクサン・システムズのフラッグシップ製品であるインテリジェント・アプリケーション・スイッチ「MXV320」も、2月頃に国内リリースを行う予定です。

#

■SA100fの製品概要



マクサン・システムズの「SA100f」は、デュアル構成の高性能プロセッサと大容量メモリ、10基の高速ファブリックポートを装備したストレージ管理アプライアンスであり、以下の特長を持っています。

○異機種混在環境でのストレージ統合を実現

マクサン・システムズ独自の「SANE(Storage Application Network Engine)」によって、複数ストレージの仮想化や、スナップショット作成、リモート・ミラーリング、サーバーレス・バックアップを、異機種混在環境で実現可能にしています。

○高速な処理が可能

ハードウェアの心臓部には、デュアル構成のインテル Xeon プロセッサ 2.4GHz と、4GB の 200MHz DDR DRAM を搭載(最大 12GB まで拡張可能)。メモリアクセスは 6.4GB/秒、I/O は最大 800MB/秒のスピードを実現しており、極めて高速な処理が行えます。

○ファイバーチャネルによるストレージ接続

インテリジェント・ファイバーチャネル・スイッチを搭載し、高速なディスクアクセスを実現。1または2GB/秒を自動認識できるファイバーチャネル・ポートを10ポート標準で装備しています。

○サーバーやネットワークへの接続が容易

自動ネゴシエーション機能を持つ10/100/1000 Base-Tイーサネットポートを2ポート装備。サーバーへのダイレクト接続はもちろんのこと、ネットワークに接続することでNASヘッドとして利用することも可能です。また管理用ポートとして、10/100 Base-Tイーサネットポートとシリアル・ポートも1ポートずつ用意されています。

○業界をリードするストレージ管理機能を提供

ストレージ管理ソフトウェアとして、ファルコンストアの「IPStor」と、ベリタスソフトウェアの「VERITAS NetBackup Media Server Option」をプレインストールしています。

○極めて高いセキュリティを実現

ベース・システム・ソフトウェアには、Linuxをベースにセキュリティや運用性を高めた、マクサン・システムズ独自の「MaXXan Operating System(MOS)」を採用。またオプション・ソフトウェアをすべてプレインストールすることでCD-ROMやフロッピー等をなくし、外部メディアによるセキュリティ・リスクも排除しています。

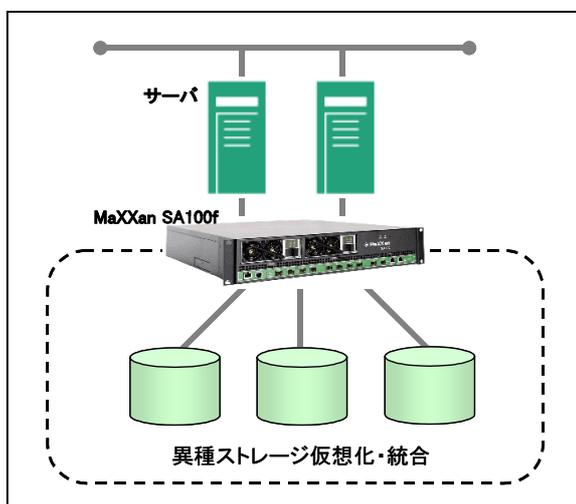
#

■SA100fによって可能になるソリューション

SA100fによって次のようなソリューションを実現できます。

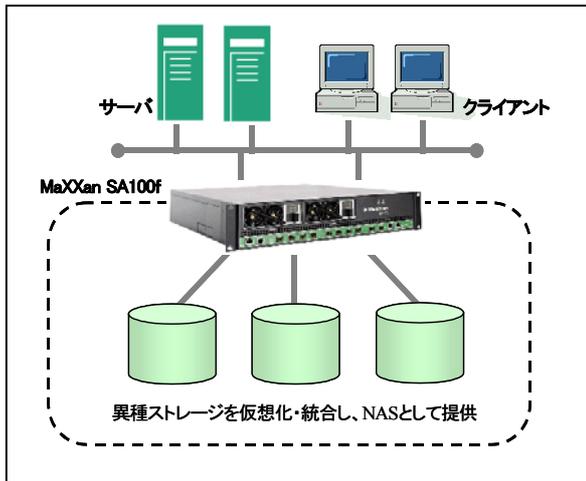
(1)サーバーに対する異機種ストレージの接続

異機種が混在したストレージ群を統合・仮想化し、データベース・サーバー等で利用することができます。これによってストレージ資産の有効活用が容易になります。



(2)異機種ストレージを統合し NAS として利用

SA100f をネットワークに接続することで、NFS や CIFS プロトコルをサポートした NAS ヘッド (NAS コントローラ) として利用できます。複数のストレージを統合して NAS 化することで、ストレージに対するユーザー・ニーズに柔軟に対応できます。

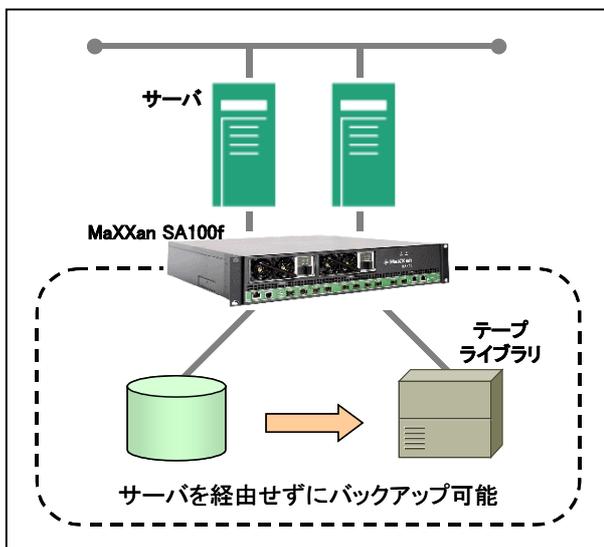


(3)スナップショットによるファイルの復旧

TimeMark 技術によって 256 世代分のロールバックポイントを持つことができます。この機能を利用することで、オペレーション・ミスやウイルス等によってファイルが破壊された場合でも、速やかに復旧することが可能になります。

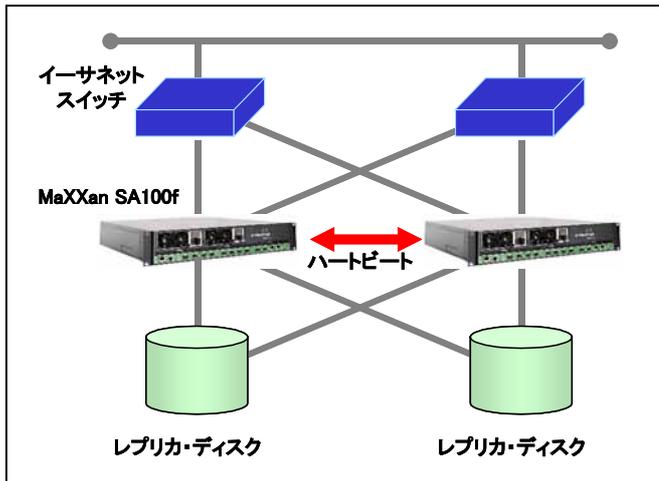
(4)サーバーレス/無停止バックアップ

SA100f にテープライブラリー等を接続することで、サーバーを経由しない“サーバーレス・バックアップ”を行えます。またスナップショット機能を利用すれば、サービスを停止せずにバックアップを行う“無停止バックアップ”の実現も可能です。



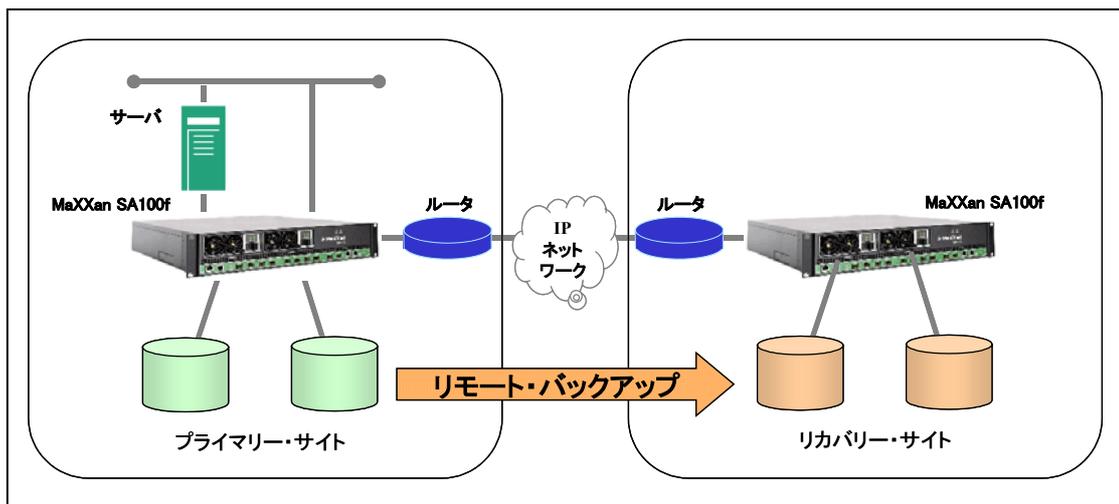
(5) サイト内の高可用性システム

SA100f は冗長構成にも対応しています。ハートビートで相互に稼働チェックを行う 2 台の SA100f と、レプリカ・ディスクを組み合わせることで、極めて高い可用性を実現できます。



(6) 複数サイトを組み合わせたディザスター・リカバリー

SA100f は IP/SAN にも対応しています。2 台の SA100f をルーター経由で IP 接続することで、リモート・バックアップも可能になります。遠隔地のリカバリー・サイトにリアルタイムでデータを転送しておくことで、プライマリー・サイト全体が使用不能になった場合でも、代替サービスを迅速に提供できます。



#



米国マクサン・システムズについて



米国マクサン・システムズは、拡張性の高いストレージ・ソリューションの提供を目的に、2000年に設立されたストレージ・システム・ベンダーです。ディザスター・リカバリーとNAS、ストレージ統合ソリューションをスケーラブルなネットワークで提供している唯一の企業であり、ITに対する投資効果の向上やビジネス・コンテュイニティの実現に、大きな貢献を果たしています。なお同社の詳細情報は、以下のサイトでご参照いただけます。

URL: <http://www.maxxan.com>

株式会社フライトシステムコンサルティングについて



株式会社フライトシステムコンサルティングは、システムコンサルティングやテクノロジーコンサルティング、システムインテグレーション、ソリューションプロダクトを“トータルソリューション”として提供するソリューションプロバイダです。オブジェクト指向技術を駆使した高度かつ高信頼性なシステム構築能力を持ち、マルチメディアやデジタル放送、インターネット、業務システムなど幅広い分野で活躍。また危機管理やセキュリティ、バックアップといったソリューションでも高い実績を持っています。2003年12月にはストレージ最大手のEMC Japanと業務提携を発表するなど、ストレージの有効活用に注力しています。なお同社の詳細情報は、以下のサイトでご参照いただけます。

URL: <http://www.flight.co.jp>

#

今回の発表に関するお問い合わせ窓口

株式会社フライトシステムコンサルティング
プロダクト&サービス事業部 担当 下形敏彦
Tel : 03-3440-6100 (代表)
Fax: 03-5791-2241
E-mail: sales@flight.co.jp